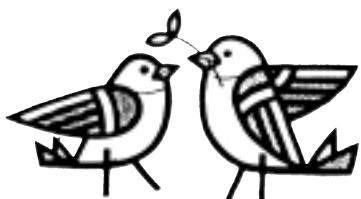


市の鳥



カワラヒワ

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046)231-2111/ Fax(046)233-9118

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

中学校の「注文弁当方式」試行開始

— 1月26日今泉中学校で好評スタート —



今泉中学校で試行が始まつた「注文弁当方式」。どのようにしてますか。



同校1階にある昇降口で、午前8時から25分間、業者が生徒からの注文を受け付けます(写真左)。メニューは幕の内弁当風の「日替わり弁当」(400円)、トンカツやハンバーグなど若者に好評のおかずを主体にした「スペシャル弁当」(350円)、ビーフとチキンが日によって選べる「カレー弁当」(350円)の3種類が用意されています。食券にクラスと名前を記入し(写真下)、代金と引き換えに半券が渡されて注文は完了。



お昼の時間になったら、注文を受けた場所がお弁当引換所となり、半券とお弁当を引き換え、自分の教室に戻つて食事になります。

生徒からは「いつもと違った味を楽しめるので良いと思う」、「から揚げがおいしかった。おかずの予定を見るのが楽しみ」などの声も。



社会情勢の変化や多様化するニーズに対応

「お弁当を作らなければいけないのに、今朝は体調がすぐれない」といった保護者などの急病時や「お弁当もいいけど、たまには他のものも食べたいな」といった子どもたちの声にもこたえることが可能です。市では、今回の今泉中学校での試行を経て、平成17年度から市内中学校の6校すべてで本格実施していきます。

本市の学校給食は、昭和48年に小・中学校で実施されました。しかし、あまりにも食べ残しが多かつたことや、生徒数の増加に伴う施設面での対応が困難になつたことなどから、検討を重ねた結果、中学校は昭和56年に現行の弁当方式となりました。お弁当を家庭で用意することは、子どもたちにとって、作つてもらう親への感謝の気持ちの再認識や、子どもたち自らが弁当を作つたり、親子で協力して作るといった体験から家族の「きずな」が強まるという利点も注目されました。しかしながら、社会情勢の変化や、多様化するニーズに対応する手段のひとつとして、今回の注文弁当方式を採用することになりました。



試行開始の1月26日は「おためし期間」ということもあり、全校生徒の約半分が利用。多くの生徒から「毎朝お弁当作りでお母さんが大変だから、時々は利用しようと思つてします」という親を思いやる意見も聞かれました。

**平成17年度から
市内全中学校で**

間 学校教育課